

「レイ様……すぐ気持ちよくなっちゃいますからあ♡」

はあ〜♡

「ツムギ……これは一体どういう事なんだっ!？」



「それでは失礼しましてー♥」

はあ

「ま、待って…! まだ心の準備が…」





「レイ様、全身の力を抜いてくださいね……♡」

はぁ

ちゅわん



「とっても綺麗ですね、レイ様。」

はぁ

ぐほぁ...あぁ

はぁ

はぁ



「だめですよ……レイ様……もう少し我慢してください……♡」

はぁ

グイン……♡

はぁ

はぁ
はぁ

「って、騎士さん？邪魔しないでください！」

は……

「あっ！キミが助けに来てくれたの！」





「いい加減に……」

お……

和心

「……」



「なっ！騎士さん？信じられない！」

は

和

「ふふふふふふ」

「レイ様……!」無事ですか?今すぐ騎士くんを……」

は……

110
110
110

「んっ!んんうううっ!はあああっ!」



「もうっっ…騎士くん、いい加減にしてっ!」

は…

「はぁっ……んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡」

110%
110%
100%





「ああんっ!♡」

んあぁ♡

きゅん

ジムキッ?

「何もありませんよっ！」

レイ様こそ、こうすると気持ちいいですか……？」

んあぁ♡♡

んあぁ♡♡

んあぁ♡♡

んあぁ♡♡

「あ……あ……ちゅ……」

んあぁ♡♡









「はあ.....はあ.....」

「はあ.....」

はあ.....

はあ.....



ムラ

ムラは…

「もう…こんなことで終わるわけじゃないですよね…」



ムラ

ムラ

は……

「早く、気持ちよくして……!」



「これが…騎士くんの…」

は…



ムラ

ムラ

はぁ

「ぼーっとしてないで…早く動いてくださいっ！」



ムラ

ムラ

はぁ

気持ちいい……!!
声が出ちゃいそう……!!

はぁ

はぁ

はぁ







ムラ

ムラ

はぁ

「レ…レイ様っ…！起こしちゃいましたかっ！」

「ジムギ…っ」

いっ

いっ

いっ



「早く……レイ様を気持ちよくしてあげて……!」

ムラ

ムラ

はぁ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

「騎士くん、ツムギの後ろで何をしてるんですが……?」



ムラ

ムラ

はぁ

「よかった…レイ様、気持ちよさそうです…」

ぽたぽた

ぽたぽた

ぽたぽた

ちゅわ

「ま、待って…!!さっきイッたばかり…」







「気持ちよかったですか、レイ様……♡」

はぁ

はぁ

「まったくもう……♡♡」

はぁはぁはぁ……♡

♡♡♡♡♡